

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	○教育課程全体で学力や豊かな人間性、社会性の涵養を育み、グローバル人材を育成する。 ○次世代の学校教育を視野に入れた授業改善を継続する。	①世界への関心を深め、多様な存在について相互理解を深めようとする姿勢を培う。 ②バランスの取れた教育課程の実施に向け、魅力ある取組を行う。 ③よりよい授業の実践のための創意工夫を継続する。	①ICTの活用など、世界の人々と交流する方法を模索し、相互理解を深める。 ②話し合い活動を効果的に取り入れる授業実践や海外修学旅行などの行事、国内外の姉妹校との交流や留学生受入などの取組を行う。 ③教科の枠を超えた研究授業を実践し、授業改善のための研究協議を行う。	①グローバル教育アンケートで「国際的な理解が深まった」と答える生徒が80%を超えたか。 ②話し合い活動を取り入れる授業実践や行事、国内外の姉妹校との交流や留学生受入などの取組を効果的に実践できたか。 ③研究授業、研究協議を実践し、その成果を共有することができたか。					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	○生徒が集中して授業に取り組むことができる学習環境の整備と生徒の学習習慣確立を図る。 ○部活動や特別活動を通じた協調性及び人間性の向上を図る。	①生徒が安心して授業に集中できるよう教育相談体制の充実を図りつつ、きめ細かな生徒支援を行う。 ②部活動や特別活動における人格形成の重要性を共有し、生徒の主体的な活動を支援する体制を持続する。	①ケース会議や教育相談コーディネーター、スクールカウンセラー、SSWを効果的に活用し教育相談体制の充実を図る。 ②今年度、様々な制約のある中で、部活動や特別活動の実施について、生徒と共に考える場を設けるなど、精神の成長を促す工夫を継続する。	①生徒による授業評価のアンケートで「集中して授業に取り組んだ」と回答する生徒の割合が増加したか。 ②部活動の加入率が増加したか。 ③部活動の定着率が80%を超えたか。					
3	進路指導・支援	○自立した社会人となるための資質を育成する。 ○社会の趨勢を捉えた適切な進路支援を行い、進路希望の実現を図る。	①高大接続改革について情報を整理し、効果的な進路指導につなげるとともに、主体的な進路実現に向けた取組を継続する。 ②学習活動コンソーシアムや多様な体験活動等の取組により、主体的な進路選択のための支援を行う。	①外部との連携を深める。生徒のニーズにこたえられるキャリアプログラムについて効果的な方法を工夫する。 ②ガイダンスや説明会、講習や補習の充実を図る。生徒の学習や進路についての相談をしやすくし、支援する体制をつくる。	①国公立や難関私立大学(早慶上理、G-MARCH)などの大学へ進学する生徒が増加したか。 ②将来の職業を見通して、進路(学校)選択をする生徒が増加したか。					
4	地域等との協働	○地域等との連携事業を通じた共感能力や協調性の育成、及び社会の形成者としての自覚と奉仕の精神の涵養を図る。 ○地域と連動した防災体制を確立する。	①実施可能な地域連携の形態を工夫する。 ②地域防災の観点から、地域における学校の役割を整理し、生徒の成長に資する活動について工夫する。	①地域の行事交流だけでなく、地域の学校等との交流を推進し、情報共有や相互理解を深める。 ②地域の防災訓練や近隣と連携した防災体制について、学校の役割を整理し、生徒の成長に資する活動について可能な範囲ですすめる。	①コロナ前の取組を参考に、地域との継続的な関係を維持し、進展させることができたか。 ②地域防災について、学校の役割を整理し、生徒の成長に資する活動について可能な範囲ですすめることができたか。					
5	学校管理 学校運営	○適切な業務分担と進捗管理を行う。 ○学校の課題に対する意識の共有と協働体制を構築する。	①教職員の働き方改革を踏まえ、効率的で質の高い教育の展開に向け教職員組織の活性化を図る。 ②学校全体の事故防止等	①適切な業務配分を行いながら、各グループ、各学年が、主体的かつ計画的に業務を遂行する。 ②事故不祥事防止に向けて各グループ及び各学年で	①業務分担と進捗管理が適切に行われ、職員のストレスチェックで、高ストレスを抱える職員の割合が10%未満であったか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
			の課題に対する意識を職員全体で共有し、風通しの良い職場環境を構築する。	課題を共有して取り組むとともに、話やすく相談しやすい職場環境を構築する。	②事故不祥事を防止するとともに、各職員の勤務時間に、著しい偏りがなく、時間外勤務や休日勤務を行う職員の割合が減少したか。					